

名称と時期 国風文化(藤原文化) 9C末~11C

[ 月 日 ]

特色①高度な貴族文化…優美・細やかな情緒

②唐文化の影響が弱まる(模倣から消化へ) →唐風から和風へ

絵画 1 **大和絵** …屏風など 日本の風景・風俗を描く(↔唐絵) <例> 2 **巨勢金岡**・百済河成

書道 3 **三蹟** …和様 4 **小野道風**(『秋萩帖』) 5 **藤原佐理**(『**離洛帖**』) ←大宰府へ赴任に際して)

7 **藤原行成**(『白氏詩巻』)…8 **世尊寺流**の祖 日記『**権記**』

③国文学の発達

・ 9 **仮名** 文字の発達→日本語・日本的感覚を生き生きと表現 ↔ 10 **真名** (漢字)

…平仮名(主に女子「女手」草書・草仮名から)・片仮名(漢字の一部から 經典の訓読に)

☆伊呂波歌や五十音図 『**和名類聚抄**』(源 順 著)などの辞書も成立

・ **和歌の地位向上** → 11 **勅撰和歌集**の編纂、宮中での歌合(左右に分かれて競作)の流行

・ **女流文学の発達** ← 娘を入内させる貴族が、天皇の歓心を得るため、有能な女性を女房に選抜した

<例> 清少納言…一条皇后藤原定子(父は道隆)に 紫式部…一条中宮藤原彰子(父は道長)に

※漢詩文も重要 <例> 『**日本三代実録**』[901](六国史の最後 清和~光孝 編者は藤原時平・菅原道真ら)

菅原道真『菅家文草』(漢詩集) 『**類聚国史**』(六国史を分野別に整理)

藤原公任『**和漢朗詠集**』 藤原明衡『**本朝文粹**』

④ 13 **浄土教** の流行… 14 **阿弥陀仏** を信仰し 15 **来世** の 16 **極楽往生** を願う

特徴 17 **念仏**(南無阿弥陀仏)以外の造寺・造仏・写経なども重要 → 18 **経済力のある貴族が中心**

19 **独立した宗派ではない**。

背景・ 20 **末法** 思想の流行 ※当時の説では 21 **1052** 年が末法初年(以後1万年)

…釈迦の死後、正法1000年、像法1000年を経て至る、仏教が全く行われぬ時代

・ 社会不安の増大 <例> 地方政治の弱化、治安の乱れ、天災・疫病

・ 仏教の世俗化 <例> 貴族の支持・加持祈祷の盛行・荘園の増加

主な僧侶 22 **空也** (市 聖)…10C半ば 京の市中で念仏 六波羅蜜寺建立 架橋など社会事業

23 **源信** (恵心僧都)…10C末 延暦寺で修行 『**往生要集**』[985]

※往生伝…極楽往生の実例 <例> 25 **慶滋保胤** 『**日本往生極楽記**』、三善為康『拾遺往生伝』

時代順問題練習 <センター2001年B本試験より[改]>

- I 仏師定朝が活躍し、大量の仏像の需要にこたえた。  
 II 最澄によって、比叡山に新たな寺院が開かれた。  
 III 京中で空也が極楽往生の教えを説き、市聖と称された。

芸術 阿弥陀堂(御堂)建築 ※法成寺 [1019]…道長建立(現存せず)

<例><sub>28</sub>日野法界寺阿弥陀堂[1051]、<sub>29</sub>平等院鳳凰堂 [1053]

彫刻 <例><sub>31</sub>平等院鳳凰堂阿弥陀如来像 ……<sub>30</sub>頼通が宇治の別荘を寺に

…<sub>32</sub>仏師定朝 ……<sub>33</sub>寄木造 (仏像を部分に分けて製造) の技法完成

他に、法界寺阿弥陀如来像、平等院鳳凰堂雲中供養仏など ※大量需要に対応

絵画 <sub>34</sub>来迎図 ……往生する人を迎えるに阿弥陀仏が来臨する場面を描く

<例><sub>35</sub>高野山聖衆来迎図 平等院鳳凰堂扉絵九品来迎図

※浄土教以外の仏教美術

○建築 醍醐寺五重塔[951]、石山寺本堂[1096] ○彫刻 広隆寺十二神将像(一木造)

○美術 青蓮院不動明王像(青不動)

工芸 <sub>36</sub>蒔絵 ……漆器に金銀で模様を描く <sub>37</sub>螺鈿…夜行貝などの貝殻の真珠光の部分を使う

音楽 舞楽(雅楽)、声明(天台・真言)の和風化

文学 和歌 『古今和歌集』[908頃]…<sub>39</sub>醍醐天皇による初の勅撰和歌集 <sub>40</sub>紀貫之・壬生忠岑ら編纂  
→三代集(古今・後撰・拾遺)、八代集(+後拾遺・金葉・詞花・千載・新古今)、二十一代集 等

日記 『<sub>41</sub>土佐日記』…<sub>42</sub>紀貫之作 任地[903 土佐守]からの帰路の紀行文 女性に仮託

『<sub>43</sub>蜻蛉日記』…<sub>44</sub>藤原(右大将)道綱母作 初の女日記 夫(藤原兼家)との生活

『和泉式部日記』、『紫式部日記』、『<sub>45</sub>更級日記』(<sub>46</sub>菅原孝標女作)

随筆 『<sub>47</sub>枕草子』…<sub>48</sub>清少納言 (清原元輔の娘)作

物語 『<sub>49</sub>竹取物語』(最古のかな物語)・『宇津保物語』・『落窪物語』…伝奇物語系

『<sub>50</sub>伊勢物語』(在原業平がモデル)・『大和物語』…歌物語系

『<sub>51</sub>源氏物語』…<sub>45</sub>紫式部 (藤原為時の娘)作 11C初 長編(54帖) 集大成・最高傑作

→『狭衣物語』『浜松中納言物語』『夜半の寝覚』『堤中納言物語』など

名称と時期 国風文化(藤原文化) 9C末~11C

[ 月 日 ]

特色①高度な貴族文化…優美・細やかな情緒

②唐文化の影響が弱まる(模倣から消化へ) →唐風から和風へ

絵画 1 \_\_\_\_\_ …屏風など 日本の風景・風俗を描く(↔唐絵) <例> 2 巨勢金岡・百済河成

書道 3 \_\_\_\_\_ …和様 4 小野道風(『秋萩帖』) 5 藤原佐理(『離洛帖』) ←大宰府へ赴任に際して)

7 藤原行成(『白氏詩巻』)… 8 世尊寺流の祖 日記『権記』

③国文学の発達

- ・ 9 \_\_\_\_\_ 文字の発達 → 日本語・日本的感覚を生き生きと表現 ↔ 10 \_\_\_\_\_ (漢字)
  - …平仮名(主に女子「女手」草書・草仮名から)・片仮名(漢字の一部から 經典の訓読に)
  - ☆伊呂波歌や五十音図 『和名類聚抄』(源 順 著)などの辞書も成立
- ・ 和歌の地位向上 → 11 勅撰和歌集の編纂、宮中での歌合(左右に分かれて競作)の流行
- ・ 女流文学の発達 ← 娘を入内させる貴族が、天皇の歓心を得るため、有能な女性を女房に選抜した
  - <例> 清少納言…一条皇后藤原定子(父は道隆)に 紫式部…一条中宮藤原彰子(父は道長)に

※漢詩文も重要 <例> 『12 日本三代実録』[901](六国史の最後 清和~光孝 編者は藤原時平・菅原道真ら)

菅原道真『菅家文草』(漢詩集) 『類聚国史』(六国史を分野別に整理)

藤原公任『和漢朗詠集』 藤原明衡『本朝文粹』

④ 13 \_\_\_\_\_ の流行… 14 \_\_\_\_\_ を信仰し 15 \_\_\_\_\_ の 16 \_\_\_\_\_ を願う

特徴 17 念仏(南無阿弥陀仏)以外の造寺・造仏・写経なども重要 → 18 経済力のある貴族が中心  
19 独立した宗派ではない。

背景・ 20 \_\_\_\_\_ 思想の流行 ※当時の説では 21 \_\_\_\_\_ 年が末法初年(以後1万年)

… 釈迦の死後、正法1000年、像法1000年を経て至る、仏教が全く行われぬ時代

- ・ 社会不安の増大 <例> 地方政治の弱化、治安の乱れ、天災・疫病
- ・ 仏教の世俗化 <例> 貴族の支持・加持祈祷の盛行・荘園の増加

主な僧侶 22 \_\_\_\_\_ (市 聖)… 10C半ば 京の市中で念仏 六波羅蜜寺建立 架橋など社会事業

23 \_\_\_\_\_ (恵心僧都)… 10C末 延暦寺で修行 『24 \_\_\_\_\_』[985]

※往生伝… 極楽往生の実例 <例> 25 \_\_\_\_\_ 『26 日本往生極楽記』、三善為康『拾遺往生伝』

時代順問題練習 <センター2001年B本試験より[改]>

- I 仏師定朝が活躍し、大量の仏像の需要にこたえた。
- II 最澄によって、比叡山に新たな寺院が開かれた。
- III 京中で空也が極楽往生の教えを説き、市聖と称された。

芸術 阿弥陀堂(御堂)建築 ※27\_\_\_\_\_ [1019]…道長建立(現存せず)

<例>28日野法界寺阿弥陀堂[1051]、29\_\_\_\_\_ [1053]

彫刻 <例>31平等院鳳凰堂阿弥陀如来像 ……30頼通が宇治の別荘を寺に

…仏師32\_\_\_\_\_ ……33\_\_\_\_\_ (仏像を部分に分けて製造) の技法完成

他に、法界寺阿弥陀如来像、平等院鳳凰堂雲中供養仏など ※大量需要に対応

絵画 34\_\_\_\_\_ ……往生する人を迎えに阿弥陀仏が来臨する場面を描く

<例>35高野山聖衆来迎図 平等院鳳凰堂屏絵九品来迎図

※浄土教以外の仏教美術

○建築 醍醐寺五重塔[951]、石山寺本堂[1096] ○彫刻 広隆寺十二神将像(一木造)

○美術 青蓮院不動明王像(青不動)

工芸 36\_\_\_\_\_ ……漆器に金銀で模様を描く 37螺鈿…夜行貝などの貝殻の真珠光の部分を使う

音楽 舞楽(雅楽)、38声明(天台・真言)の和風化

文学 和歌 『38古今和歌集』[908頃]…39醍醐天皇による初の勅撰和歌集 40\_\_\_\_\_ ・41壬生忠岑ら編纂

→三代集(古今・後撰・拾遺)、八代集(+後拾遺・金葉・詞花・千載・新古今)、二十一代集 等

日記 『41\_\_\_\_\_』…42紀貫之作 任地[903 土佐守]からの帰路の紀行文 女性に仮託

『43蜻蛉日記』…44藤原(右大将)道綱母作 初の女日記 夫(藤原兼家)との生活

『和泉式部日記』、『紫式部日記』、『45更級日記』(46菅原孝標女作)

随筆 『47枕草子』…48\_\_\_\_\_ (清原元輔の娘)作

物語 『49竹取物語』(最古のかな物語)・『49宇津保物語』・『49落窪物語』…伝奇物語系

『50伊勢物語』(在原業平がモデル)・『大和物語』…歌物語系

『51源氏物語』…45\_\_\_\_\_ (藤原為時の娘)作 11C初 長編(54帖) 集大成・最高傑作

→『狭衣物語』『浜松中納言物語』『夜半の寝覚』『堤中納言物語』など